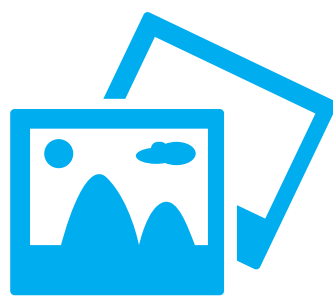


令和
4
年度決算



グラフと写真でみる
まちの決算と
財政状況

北海道栗山町

もくじ



グラフでみる決算概要

○全会計の決算概要と推移	2
○一般会計の決算概要	4
○国民健康保険特別会計の決算概要	6
○北海道介護福祉学校特別会計の決算概要	7
○介護保険特別会計の決算概要	8
○後期高齢者医療特別会計の決算概要	9
○住宅団地造成事業特別会計の決算概要	10
○工業団地造成事業特別会計の決算概要	11
○水道事業会計の決算概要	12
○下水道事業会計の決算概要	13



写真でみる主な実施事業

- 栗山町第6次総合計画の主要施策より -	15
-----------------------	----



グラフでみるまちの財政状況

○基金残高の推移	22
○町債残高の推移	23
○財政健全化法に基づく指標からみた財政の健全化状況	24

参考

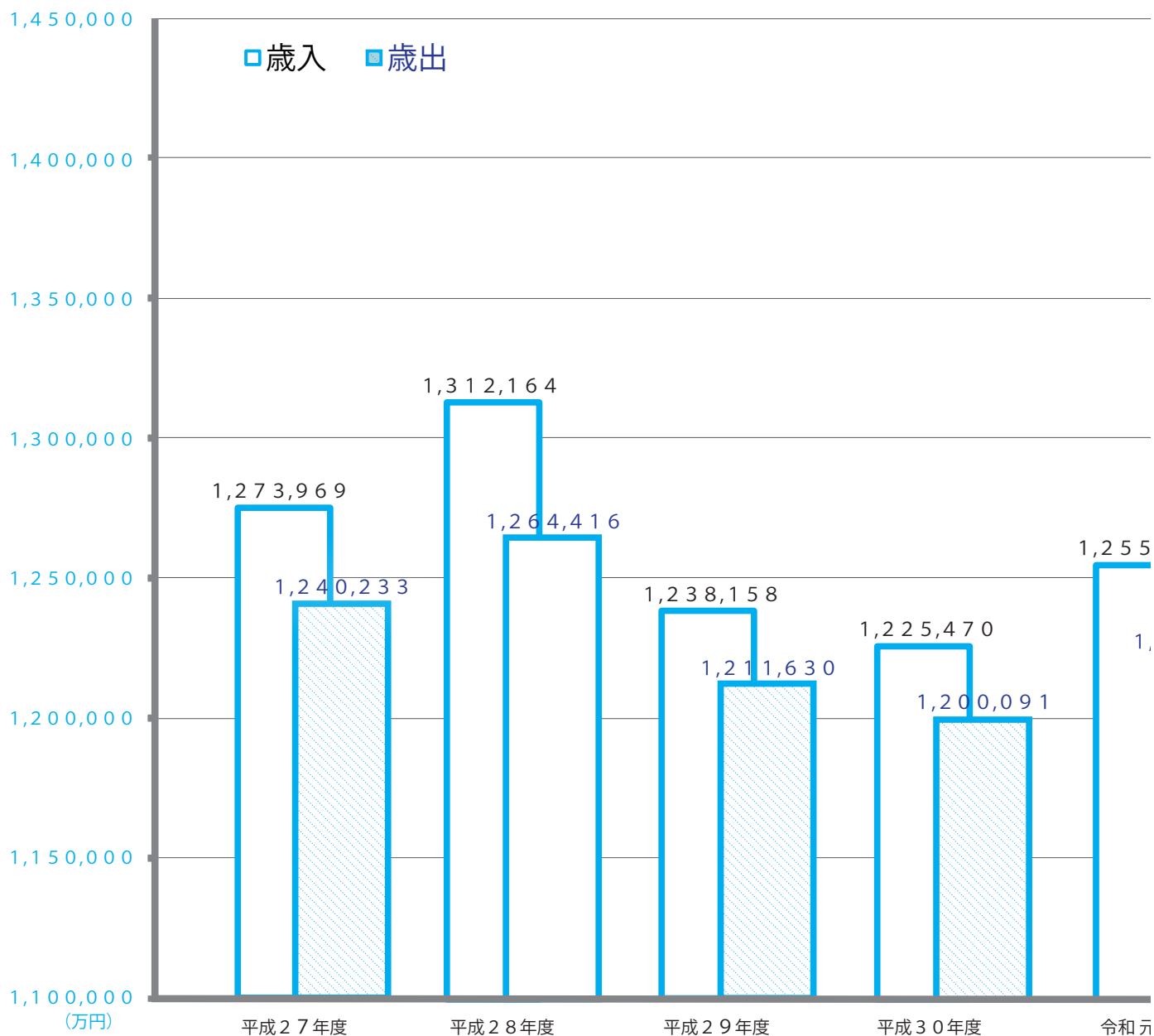
南空知9市町の令和3年度普通会計決算概要	25
----------------------	----



グラフでみる

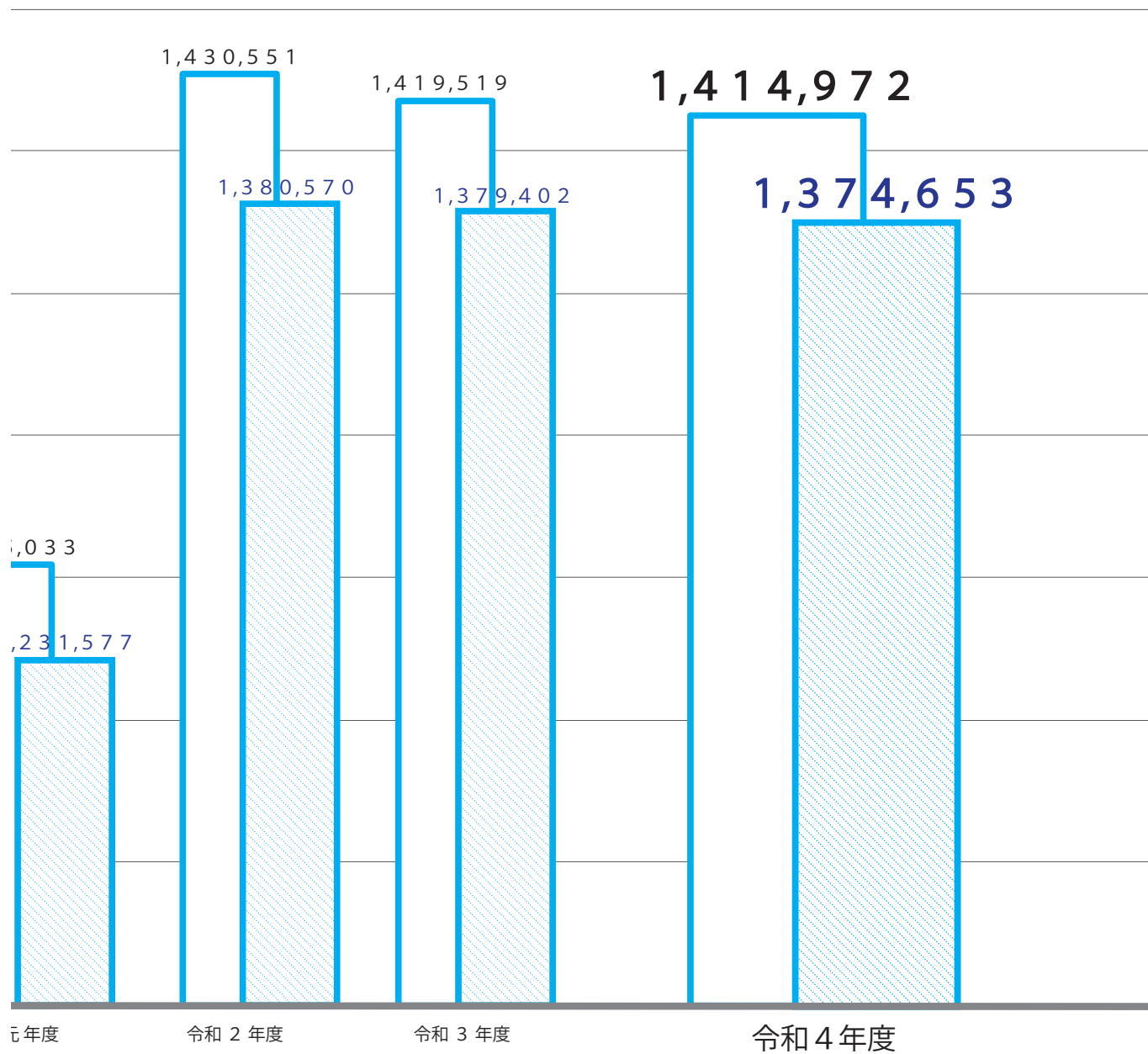
決算概要

全会計の決算概要と推移



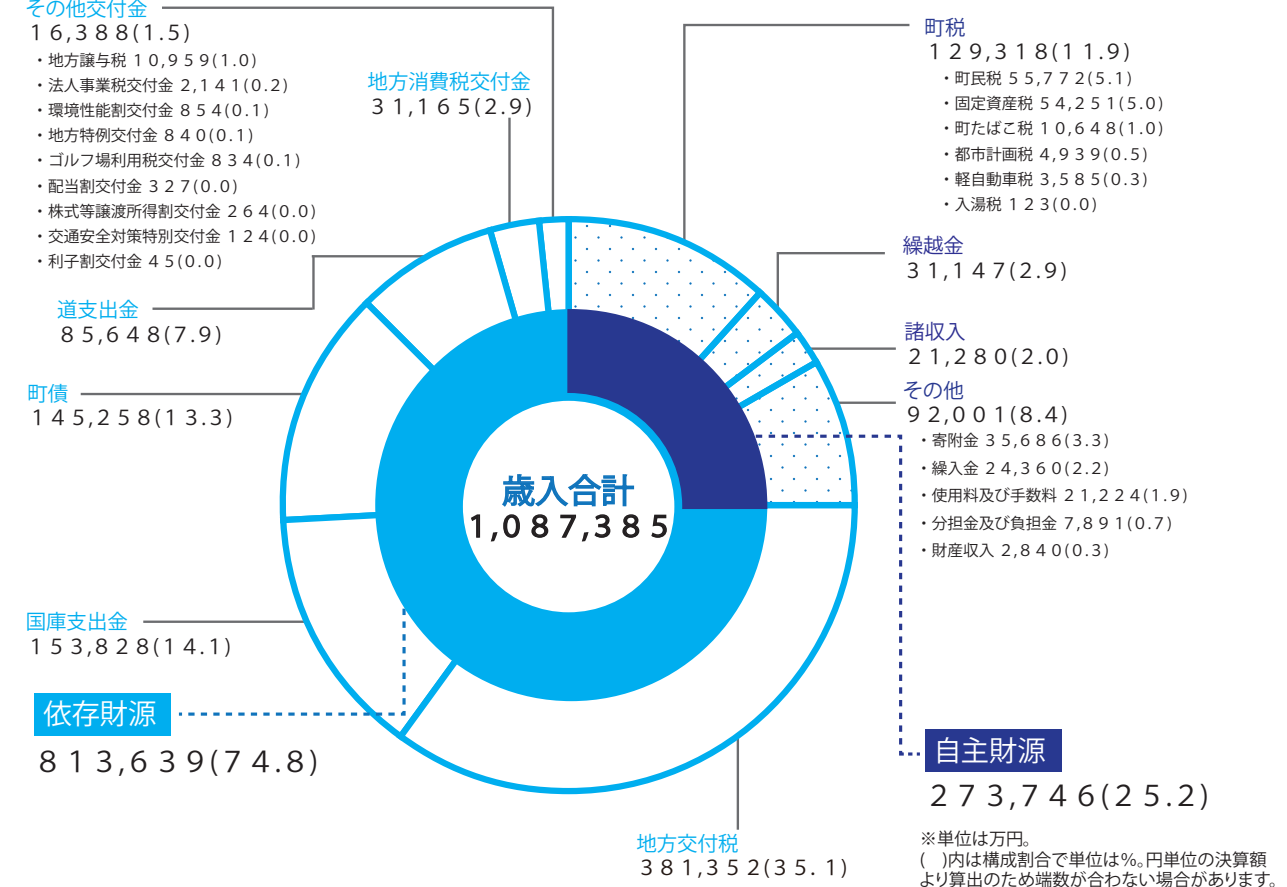
令和4年度の一般会計・特別会計（国民健康保険特別会計、北海道介護福祉事業特別会計、工業団地造成事業特別会計）・企業会計（水道事業会計、下水道事業会計）を除いた会計の令和4年度決算総額は、歳入で14億1,497万2,474円の減）となりました。

※企業会計（水道事業・下水道事業）を除いた
全会計の合計値です。

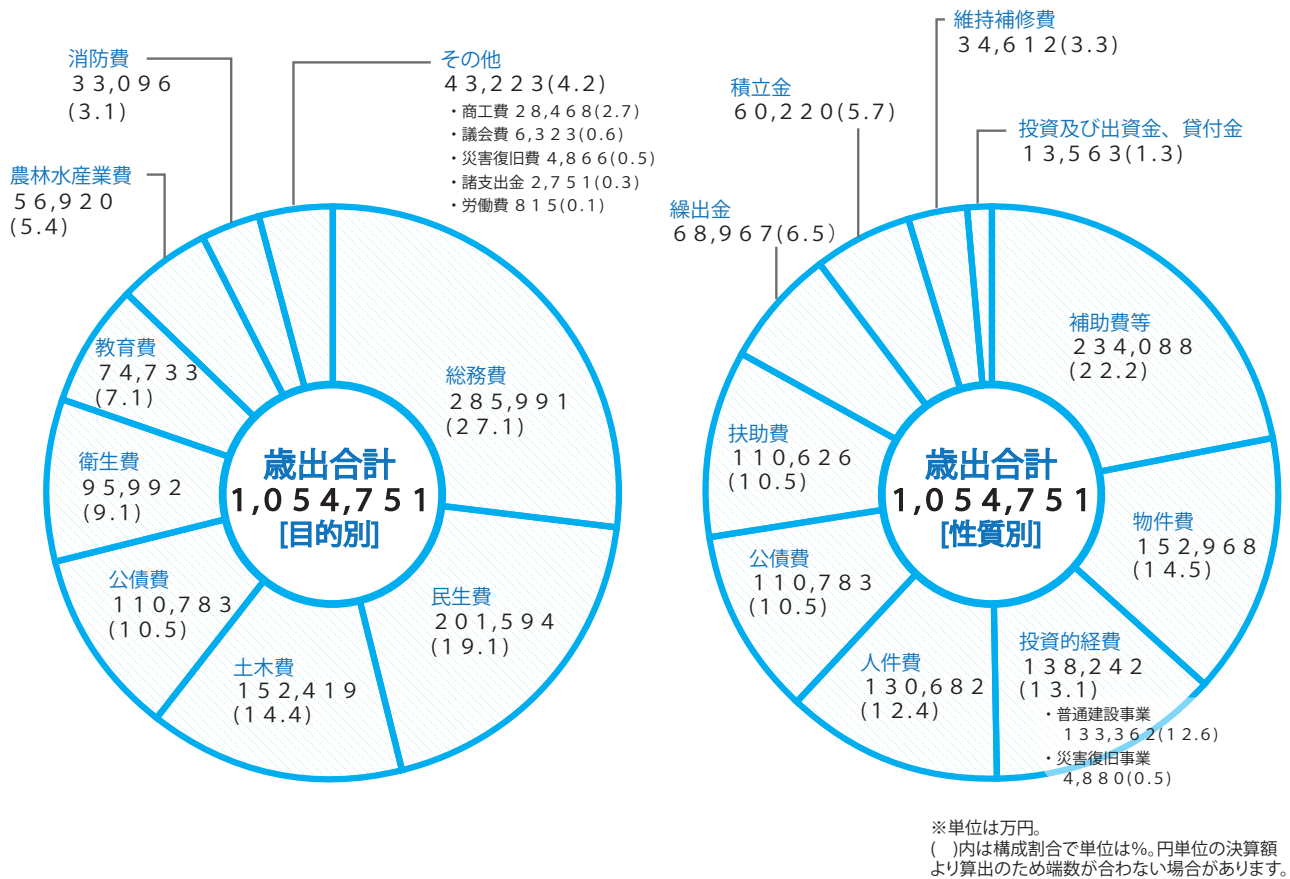


祉学校特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、住宅団地造成
事業会計）の決算が、9月議会定例会議で認定されました。

万円（前年比4,547万円の減）。歳出で137億4,653万円（前年比



なお、繰越額の中には、次年度に実施する事業財源20万7,000円が含まれているため、実質



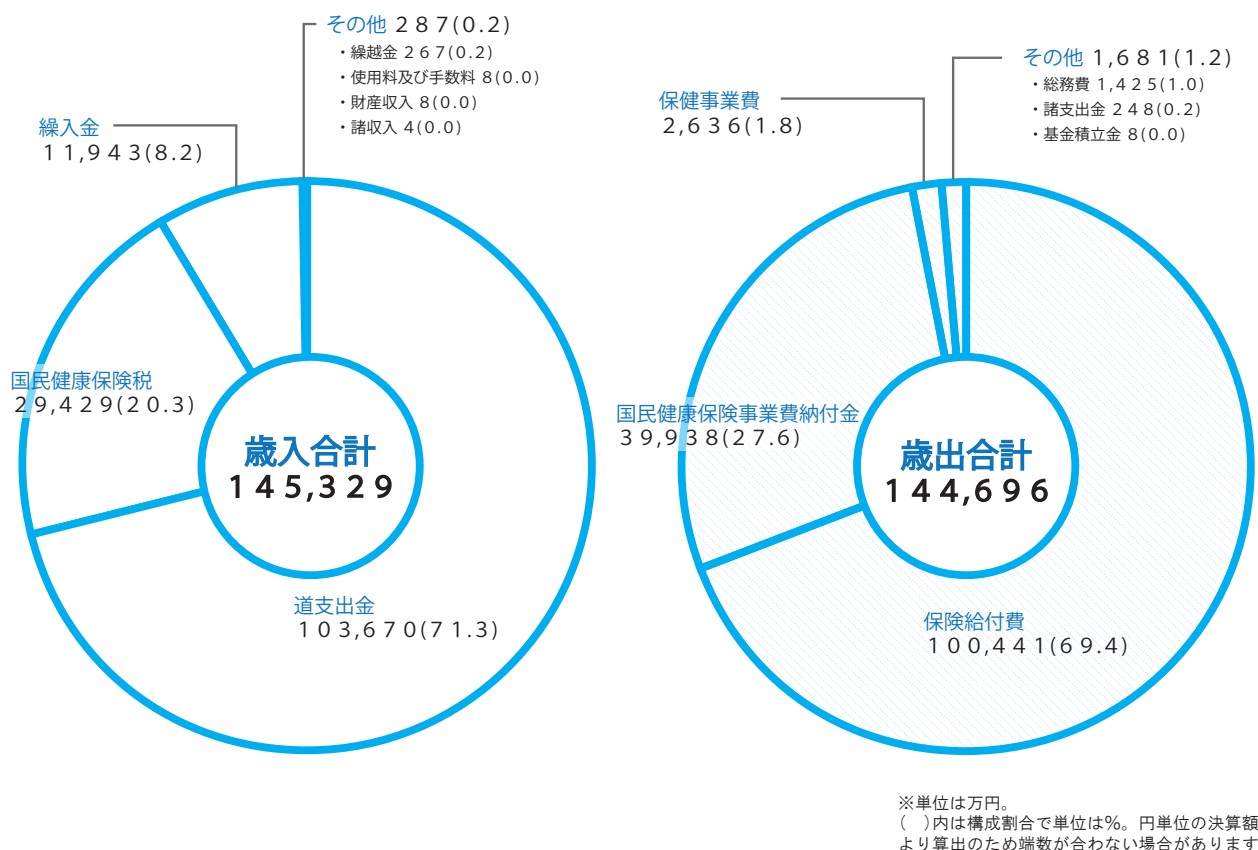
歳出総額は105億4,751万円。
前年比267万円の増。

歳入は、町債や道支出金の増により、前年度比で約1,754万円の増となりました。歳入全体の構成は町税や使用料など、町が独自に確保している自主財源の割合が25.2%、地方交付税や国・道からの交付金などの依存財源の割合が74.8%となりました。

歳出は、前年度比で約267万円の増となりました。増減が大きい費目としては、衛生費が約3億7,176万円の増、総務費が約4億1,754万円の減となりました。

歳出全体の構成は、総務費が最も多く、次に民生費、土木費と続いています。

国民健康保険特別会計の決算概要

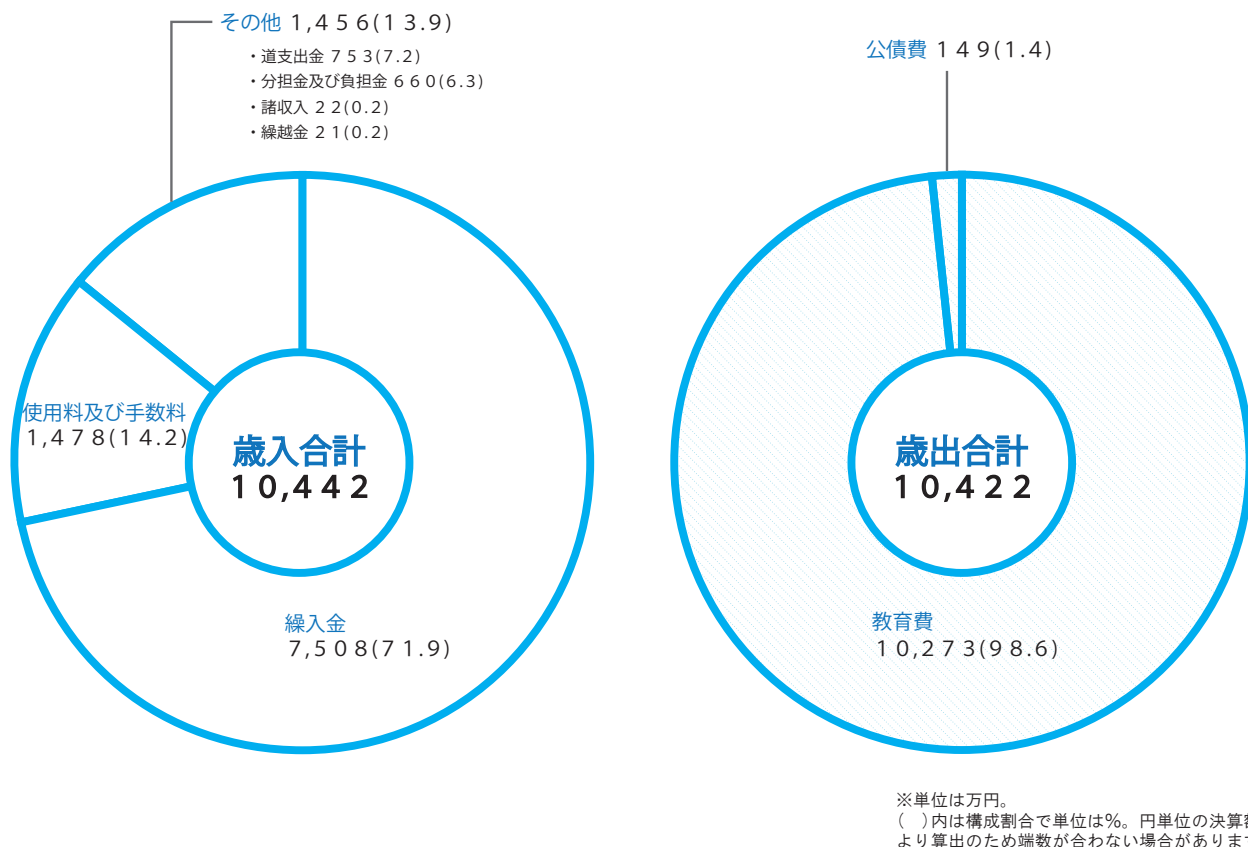


歳入14億5,329万円。歳出14億4,696万円。
633万円を翌年度に繰り越しました。

国民健康保険特別会計とは、国民健康保険事業の円滑な運営とその経理の適正を図るため、一般会計と区分された会計です。

令和4年度末の国民健康保険に加入している世帯数は1,589世帯、被保険者数は2,573人で、町民の健康保持と増進のため保険給付を行い、医療保障の充実に努めました。

北海道介護福祉学校特別会計の決算概要

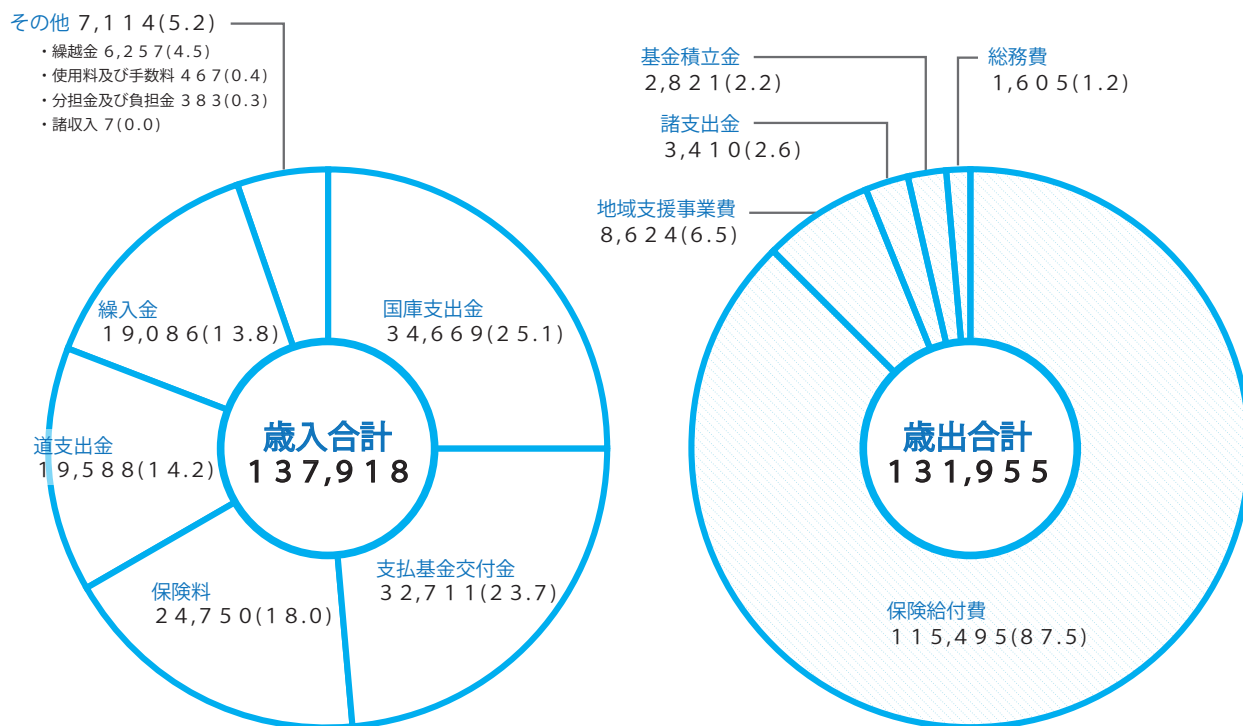


歳入 1 億 4 4 2 万円。歳出 1 億 4 2 2 万円。
2 0 万円を翌年度に繰り越しました。

北海道介護福祉学校特別会計とは、町立北海道介護福祉学校の運営のため、一般会計と区分された会計です。

社会情勢などにより入学者数は定員数に満たないものの、介護福祉士人材の求人数は堅調で、開校以来 3 4 年連続就職率 1 0 0 % を達成しました。

介護保険特別会計の決算概要



※単位は万円。
()内は構成割合で単位は%。円単位の決算額より算出のため端数が合わない場合があります。

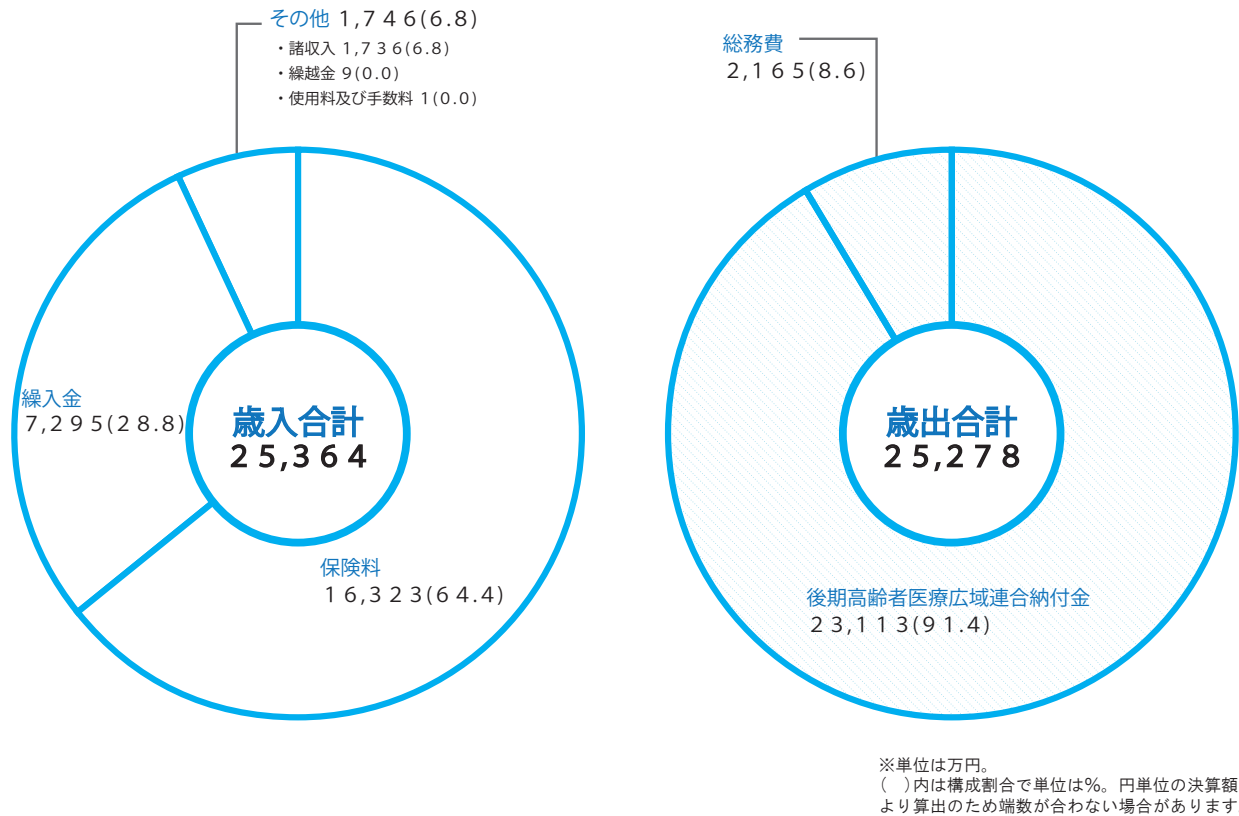
歳入13億7,918万円。歳出13億1,955万円。
5,963万円を翌年度に繰り越しました。

介護保険特別会計とは、介護保険事業の円滑な運営とその経理の適正を図るため、一般会計と区分された会計です。

適正な要介護認定を行うとともに、要介護・要支援者が能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう保険給付を行い、福祉の増進に努めました。

また、将来に要介護・要支援状態になるおそれのある高齢者を対象に、介護予防を推進しました。

後期高齢者医療特別会計の決算概要

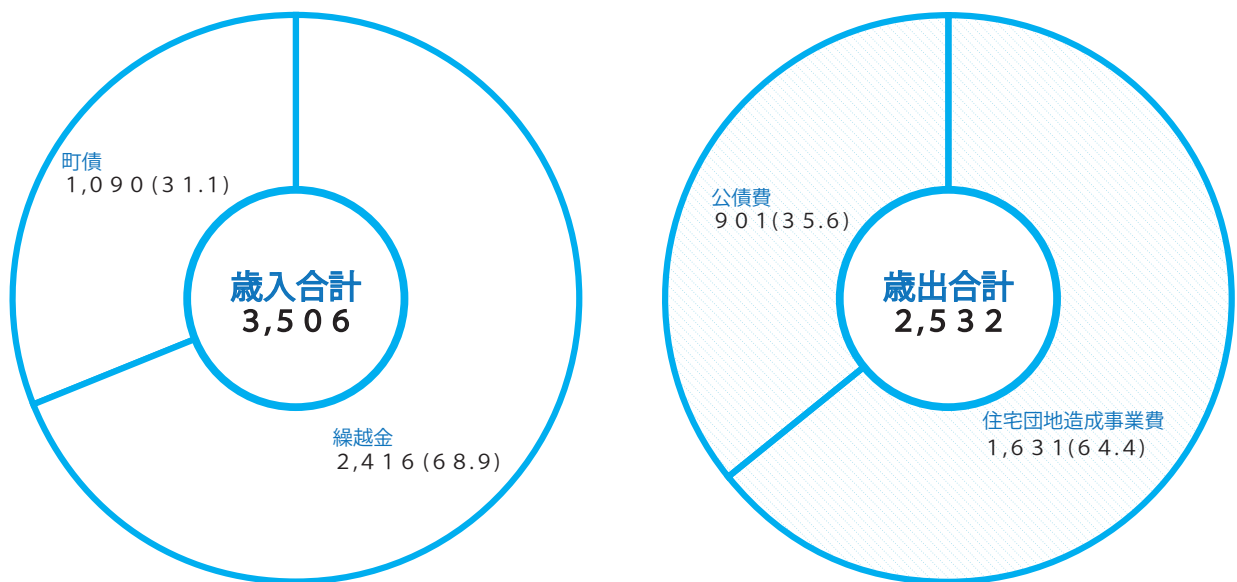


歳入2億5,364万円。歳出2億5,278万円。
 86万円を翌年度に繰り越しました。

後期高齢者医療特別会計とは、後期高齢者医療事業の円滑な運営とその経理の適正を図るため、一般会計と区分された会計です。

北海道後期高齢者医療広域連合が主体となって運営していますが、本町では高齢者の健康保持と増進のため、被保険者の資格管理の窓口事務や保険料の徴収などを行い、医療費の適正化に努め、健全な医療給付を進めました。

住宅団地造成事業特別会計の決算概要



※単位は万円。
()内は構成割合で単位は%。円単位の決算額より算出のため端数が合わない場合があります。

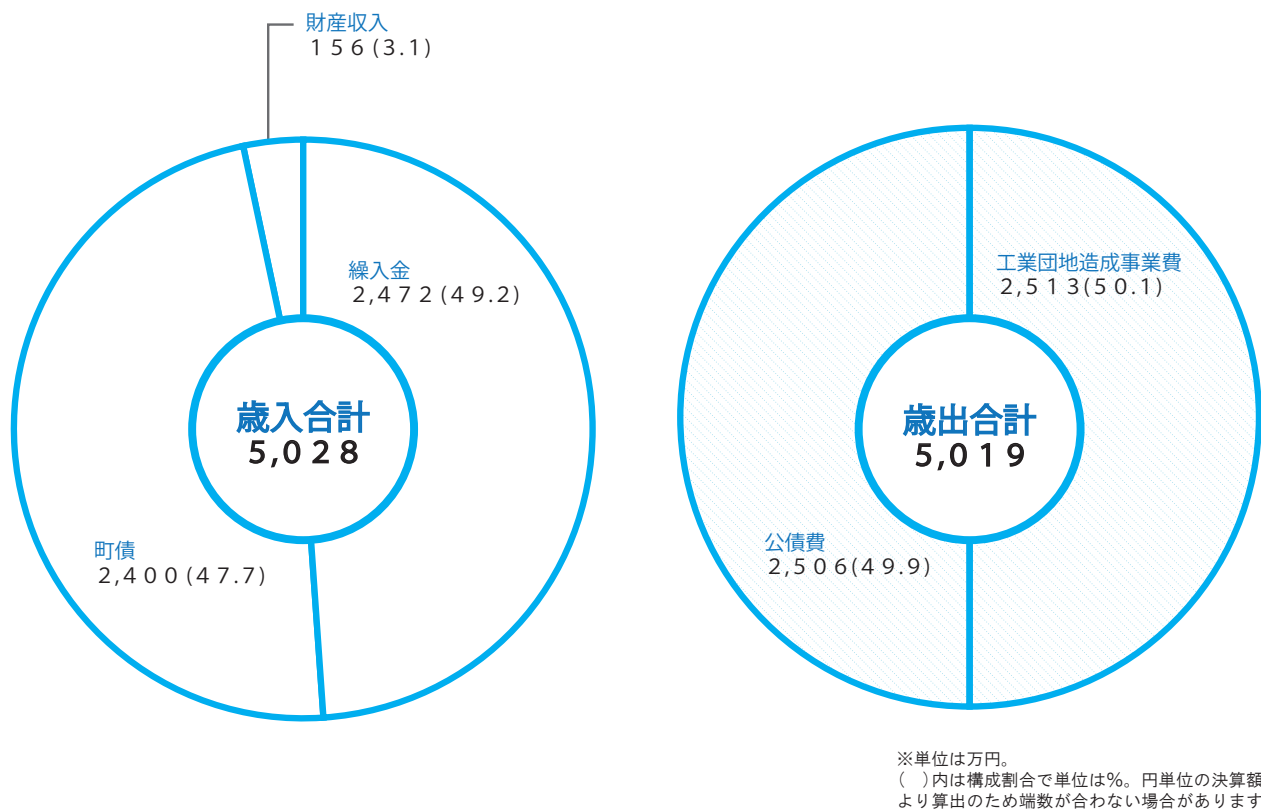
歳入 3,506 万円。歳出 2,532 万円。
974 万円を翌年度に繰り越しました。

住宅団地造成事業特別会計とは、住宅団地造成事業を実施するため、一般会計と区分された会計です。

平成27年10月より分譲を開始した朝日4丁目住宅団地第4期（全19区画）は、令和4年度末までに16区画を販売しました。

また、令和5年度より分譲予定の中里住宅団地の設計を行いました。

工業団地造成事業特別会計の決算概要



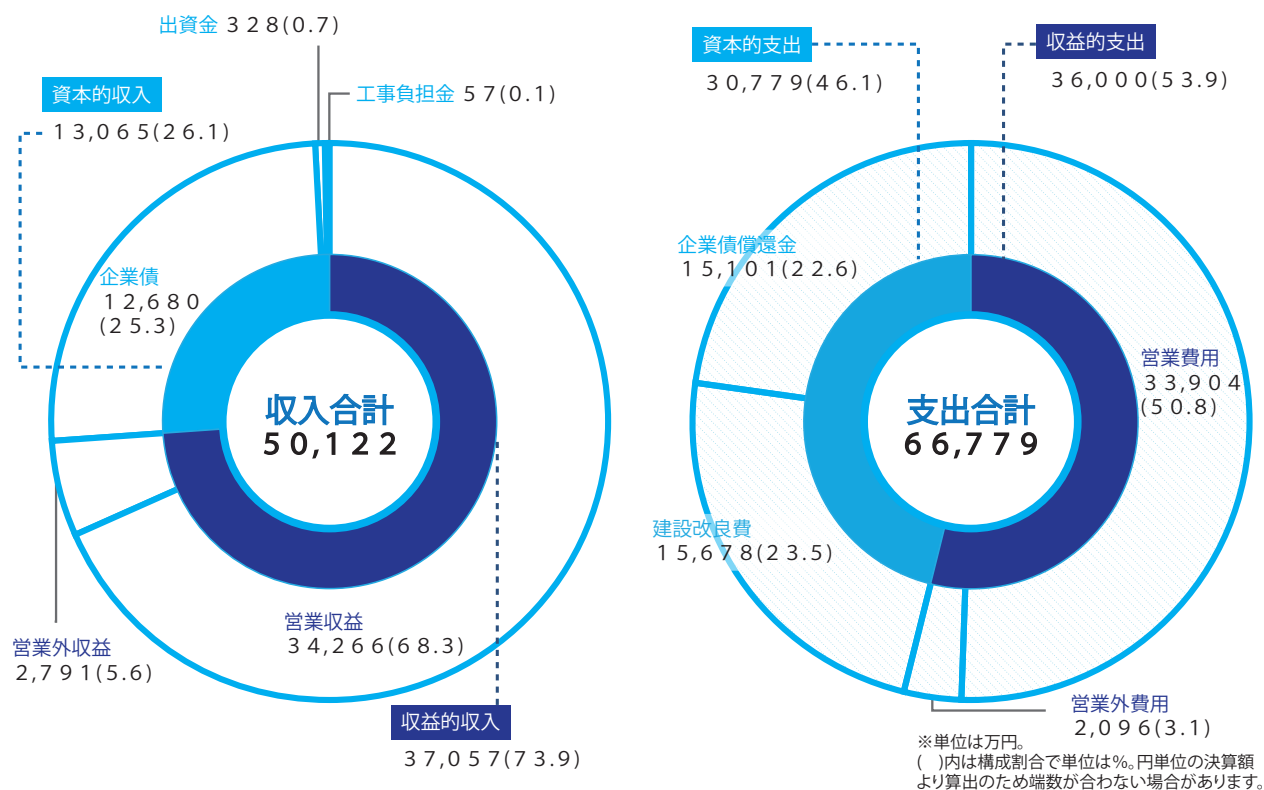
歳入5,028万円。歳出5,019万円。
9万円を翌年度に繰り越しました。

工業団地造成事業特別会計とは、工業団地造成事業を実施するため、一般会計と区分された会計です。

平成30年度より分譲を開始した第4工業団地（全7区画）は、令和4年度末までに3区画を賃貸借、2区画を販売しました。

また、令和5年度より分譲予定の第5工業団地の設計を行いました。

水道事業会計の決算概要



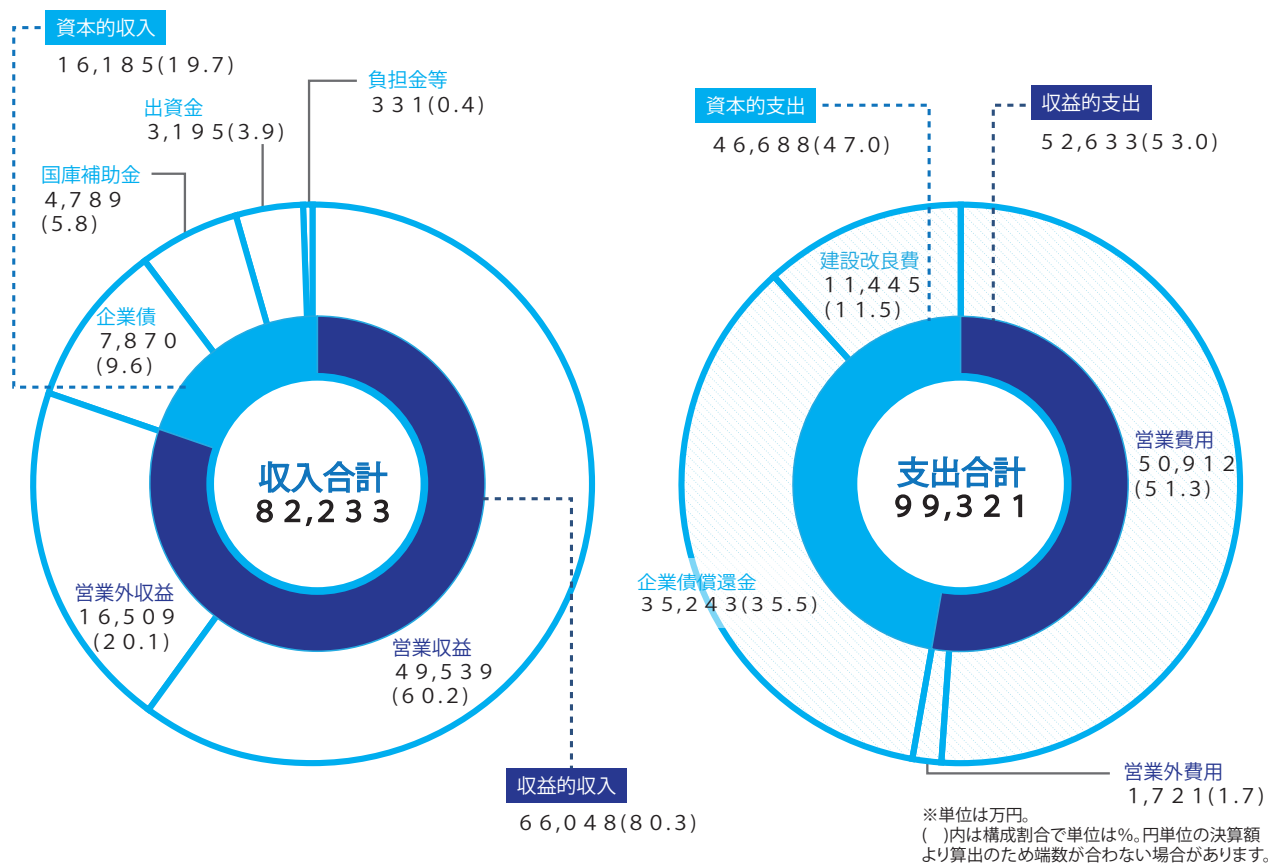
収入5億122万円。支出6億6,779万円。
会計処理上の不足額は損益勘定留保資金などで補てん。

水道事業会計とは、水道事業を運営するため企業会計によって区分された会計です。

水をつくりご家庭などに届けるための経費（収益的収支）では差引1,057万円となりました。浄水場の設備更新や配水管の整備などに使用するための経費（資本的収支）では1億7,714万円の不足となりました。

不足額については、減価償却費など収益的支出のうち現金の支出を必要としない費用によって生じた資金（損益勘定留保資金など）で補てんしました。

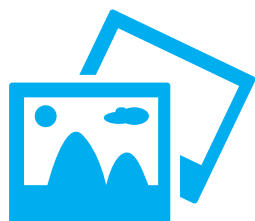
下水道事業会計の決算概要



収入8億2,233万円。支出9億9,321万円。
会計処理上の不足額は損益勘定留保資金などで補てん。

下水道事業会計とは、下水道事業を運営するため企業会計によって区分された会計です。下水道管や下水道管理センターの維持管理に必要な経費（収益的収支）では差引1億3,415万円となりました。下水道管や下水道管理センターの設備更新や取り替えなどに使用するための経費（資本的収支）では3億503万円の不足となりました。

不足額については、減価償却費など収益的支出のうち現金の支出を必要としない費用によって生じた資金（損益勘定留保資金など）で補てんしました。



写真でみる

主な実施事業

栗山町第6次総合計画
の主要施策より

※栗山町第6次総合計画に掲載されている計画事業番号、事業名、決算額及び、事業に関連した写真を掲載しています。

計画
事業
5

広域組合加入による共同処理により、
安定したごみ処理体制を構築します。



(令和6年4月から稼働予定の広域焼却施設の建築工事)

決算額 431,422 千円

計画
事業
6

町内会・自治会などによる、地域環
境美化の運動を支援します。



(全町一斉清掃の実施)

決算額 496 千円

計画
事業
15

防災訓練の実施と、町民の防災知識
の啓発を推進します。



(冬季避難所開設訓練の実施)

決算額 52 千円

計画
事業
20

消防団施設の更新など、充実・強化
を図ります。



(更新した小型オフロードポンプ車)

決算額 28,646 千円

計画
事業
21

交通安全運動・教育を推進します。



(交通安全教室の実施)

決算額 1,630 千円

計画
事業
51

優秀な介護福祉士を毎年40名輩出
し、これからの高齢化社会を支える
人材を創出します。



(北海道介護福祉学校オープンキャンパスの実施)

決算額 100,742 千円

計画
事業
55

自然・社会体験など、青少年の体験活動の機会を提供します。



(キッズクラブ「田植え」の実施)

決算額 2 1 千円

計画
事業
65

「ふるさと自然体験教育」の推進と、拠点施設「雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス」の利活用を図ります。



(自然体験プログラムの提供)

決算額 2 2, 4 3 4 千円

計画
事業
67

年齢や技術・技能の段階に応じた生涯スポーツを推進します。



(全町ミニバレーボール大会の実施)

決算額 5, 1 6 5 千円

計画
事業
72

町民が芸術文化に親しむことのできる環境づくりを推進します。



(ひなまつりコンサートの実施)

決算額 7, 4 4 8 千円

計画
事業
77

少年ジェット派遣事業を行います。



(中高生10名のオーストラリアへの派遣)

決算額 3, 9 6 5 千円

計画
事業
80

脳血管疾患・循環器疾患・糖尿病などの予防を推進します。



(健診の実施)

決算額 1 9, 0 7 9 千円

計画
事業
88

地域に必要な医療水準の維持に努めます。



(栗山赤十字病院への助成)

決算額 165,526 千円

計画
事業
94

児童の健全な遊び・活動の場と、放課後の居場所づくりを進めます。



(児童クラブの運営)

決算額 29,736 千円

計画
事業
101

高齢者が要介護状態にならないよう、介護予防事業を推進します。



(あたまイキイキ教室の実施)

決算額 8,533 千円

計画
事業
106

地域の見守り・支え合い活動の充実を図ります。



(まちなかカフェ事業(サンタの笑顔)の支援)

決算額 9,040 千円

計画
事業
108

障がい者の社会参画と自立支援に取り組む団体・事業者などを支援します。



(こころの悩み研修会の実施)

決算額 4,917 千円

計画
事業
112

栗山の特性を生かした良質な農産物の生産を推進します。



(農業機械導入の支援)

決算額 133,040 千円

計画
事業
122

賑わいにあふれ魅力ある商店街づくりを推進します。



(まちなかレストランの実施)

決算額 15,769 千円

計画
事業
125

新たな推進体制を構築するなど、観光事業の充実を図ります。



(秋まつりの支援)

決算額 21,376 千円

計画
事業
129

栗山町への移住・定住を促進します。

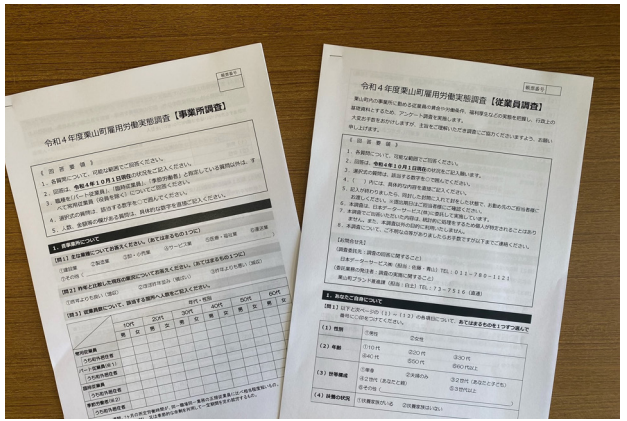


(移住フェアへの出展)

決算額 11,182 千円

計画
事業
131

労働者の労働環境の向上を図ります。



(雇用実態調査の実施)

決算額 2,288 千円

計画
事業
139

町営バスの充実を図り、交通弱者の移動手段を確保します。



(コミュニティバスの運行)

決算額 79,062 千円

計画
事業
141

公営住宅の整備・改修を行います。



(建て替えた中央団地)

決算額 270,383 千円

計画
事業
150

個別排水処理施設整備を推進します。



(合併処理浄化槽の新設)

決算額 67,308 千円

計画
事業
151

河川環境の改善・水害防止に努めるとともに、自然河川づくりを推進します。



(河川の土砂等の撤去)

決算額 12,505 千円

計画
事業
152

新町地区の再開発整備事業に取り組みます。



(整備した「栗山煉瓦創庫くりふと」)

決算額 403,866 千円

計画
事業
165

NPO法人などの公益活動に対する支援をします。



(NPO法人向け活動応援セミナーの実施)

決算額 30 千円

計画
事業
175

時代に対応できる行政職員を育成します。



(職員研修の実施)

決算額 599 千円

計画
事業
186

コミュニティ放送により、町民との情報共有手段の充実を図ります。



(コミュニティ放送局開設に向けたPRイベントの実施)

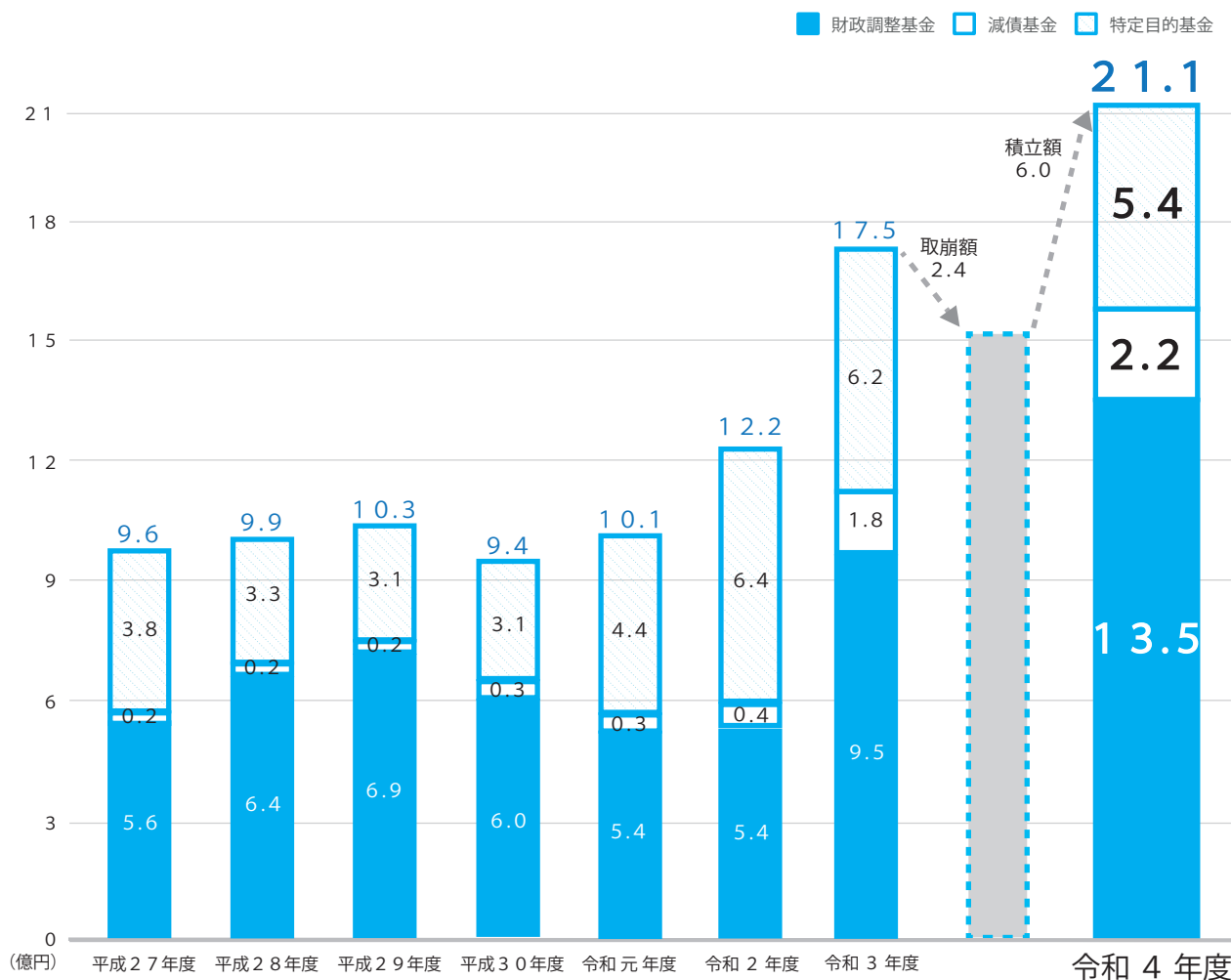
決算額 13,349 千円



グラフでみる

まちの財政状況

基金残高の推移（一般会計）

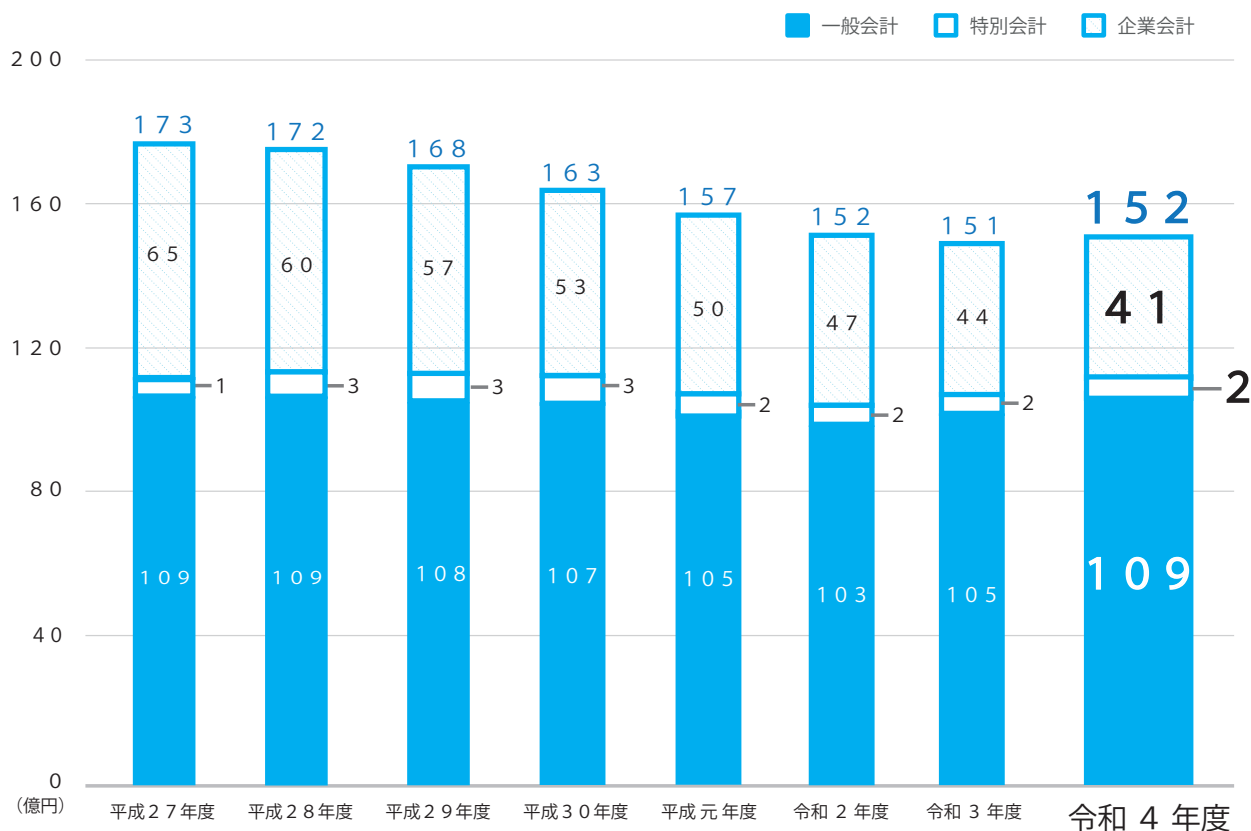


基金の年度末残額は21億980万円。
前年比3億5,897万円の増になりました。

安定した財政運営を進めるための貴重な財源として、決算に伴う余剰金の一部や、寄附金などを原資として積み立てた基金の年度末残高は、一般会計分で21億980万円になり、前年度比で3億5,897万円の増となりました。

なお、令和4年度における取り崩し額は2億4,356万円で、積み立て額は6億253万円です。

町債残高の推移（全会計）



町債の年度末残高は152億852万円。
前年比8,024万円の減になりました。

町債（町の借入れ金）には、毎年の財源負担を平均化する役割と、現在と将来の町民負担を公平にする役割があり、町では財政状況を悪化させないよう、町総合計画や行財政改革推進計画等に基づき、計画的な借入れを行っています。

町債の年度末残高は全会計分で152億852万円となり、前年比で8,024万円の増となりました。

財政健全化法に基づく指標からみた財政の健全化状況

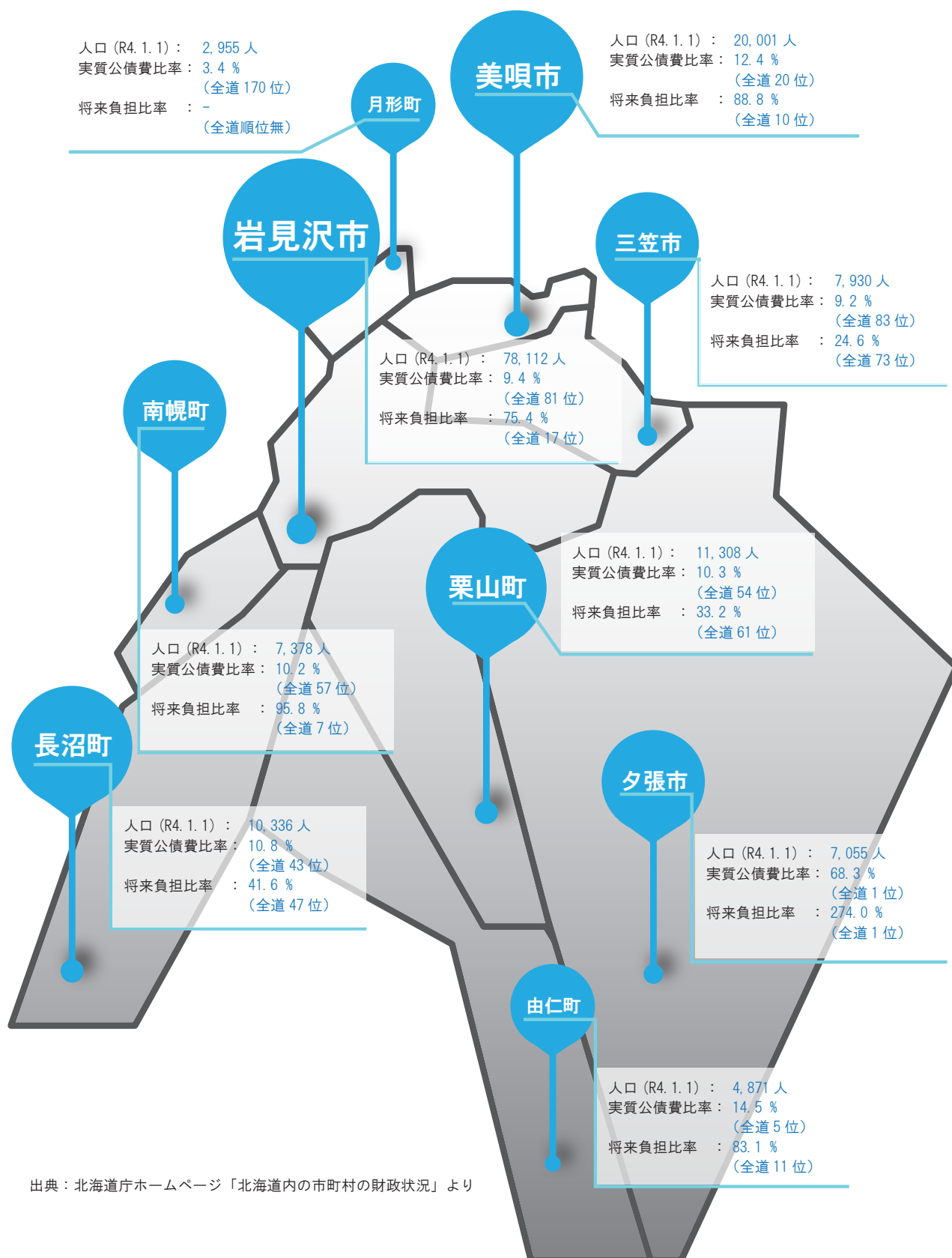
指 標		指標の説明	比 率 (R 4 決算)	全道市町村 の平均 (R 3 決算)	基準値	
					早期健全化 基 準	財政再生 基 準
健全化判断比率	実質赤字比率	一般会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率	該当無	基準値以上の団体無	14.99%	20%
	連結実質赤字比率	全会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率	該当無	基準値以上の団体無	19.99%	30%
	実質公債費比率	一般会計が負担する元利償還金などの標準財政規模に対する比率	8.3%	6.9%	25%	35%
	将来負担比率	一般会計が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率	25.6%	26.7%	350%	
資金不足比率 (水道・下水道事業、住宅団地・工業団地造成事業)		資金不足額(赤字額)の事業規模に対する比率	該当無		20%	

まちの財政は「健全基準」にありますが、
依然として厳しい財政状況が続いています。

財政の健全さを計る指標を導入し再建の枠組みを定めた「財政健全化法」に基づき、町の財政状況を分析しています。

本町では、計画的かつ健全な財政運営に努めていますが、実質公債費比率は依然として全道市町村平均を上回っていることから、厳しい財政状況が続いています。

南空知9市町の令和3年度普通会計決算概要



出典：北海道庁ホームページ「北海道内の市町村の財政状況」より

本冊子は、令和４年度の決算概要をご理解いただくため、要点を絞り作成しました。
詳しい内容については、資料編「令和４年度主要な施策の成果表」をご覧ください。
なお、お寄せいただいたご意見、ご感想などを次年度の冊子作成の際の参考とさせていただきます。
町の財政情報を的確に、そして、分かりやすくお知らせしていくためのご意見などをお待ちしております。

発 行 / 栗山町

発行日 / 令和５年１０月

編 集 / 経営企画課行政経営グループ

〒０６９－１５１２ 北海道夕張郡栗山町松風３丁目２５２番地

ＴＥＬ：０１２３－７３－７５０３（直通） ＦＡＸ：０１２３－７２－３１７９（代表）

ＷＥＢ：<http://www.town.kuriyama.hokkaido.jp/> ※ホームページにも本冊子の内容を掲載しています。